

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 SkyDrive

**SkyDrive、米国サウスカロライナ州において空飛ぶクルマ事業、本格始動
～チャーター機運航会社・オースティンアビエーションと 5 機のプレオーダーを合意～**

「空飛ぶクルマ」（※1）および「物流ドローン」を開発する株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）は、米国サウスカロライナ州で「空飛ぶクルマ」の運航実現に向けて、サウスカロライナ州および州内の主要空港、運航会社等とプレスイベントを開催した事およびチャーター機運航会社・オースティンアビエーションと 5 機のプレオーダーを合意した事をお知らせ致します。



2023 年 7 月 18 日に米国サウスカロライナ州ビューフォートにて行われた、
ステークホルダーとのプレスイベント時の集合写真

左から William Fugate (Director of Business Development North America, SkyDrive), Doug Davinroy (Austin Aviation), Marco Cavazzoni (Lowcountry Aviation), Tony Allen (Business Recruitment Manager, South Carolina Department of Commerce), John Fleming (COO, SouthernCarolina Regional Development Alliance), Stephen Murray (Mayor, Beaufort City), Joseph Passiment (County Chairman, Beaufort County), Tomohiro Fukuzawa (CEO, SkyDrive), Mio Maeda (Consul General, Consulate General of Japan), Dan Sloat (Technical Advisor, Volatus Infrastructure), and John O'toole (Executive Director at Beaufort County Economic Development Corporation)

■ 本提携の背景と今後の取り組み

SkyDrive は、2023 年 1 月に開催された 2023 年度の eVTOL シンポジウムにおいて、米国市場への参入計画と、サウスカロライナ州に本拠点を置いたことを発表しました。（※2）更に、2023 年 6 月のパリ・航空エアショーで 3 人乗りの空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」を発表し（※3）、開発に取り組んでいます。

この度、サウスカロライナ州政府と州内の主要空港、および運航会社等のあらゆるステークホルダーと協力し、サウスカロライナ州において空飛ぶクルマの実現に向けて、本格始動する運びとなりました。

本件に伴い、Lowcountry Aviation Company の子会社で、チャーター機の運航会社である Austin Aviation Inc.（社長 Alex Cavazzoni）と、空飛ぶクルマ導入に関する覚書を締結し、設計開発中の「空飛ぶクルマ」の商用機「SKYDRIVE」の最大 5 機のプレオーダーを合意しました。

また、SkyDrive は 2022 年 9 月に、米国の Volatus Infrastructure LLC（「以下、Volatus」）と業務提携し、アメリカにおける空飛ぶクルマのバーティポート（※4）や充電ステーションなどのインフラ構築計画を推進してきました。（※5）サウスカロライナ州においても、Volatus は重要な専門知識を提供する予定です。

今後、SkyDrive は、Austin Aviation Inc.や Volatus、様々パートナーの皆様と協力し、同州の主要空港を起点とした「SKYDRIVE」の実用的なユースケースを創出、商業運航を目指します。

■ 各コメント

株式会社 SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤 知浩

SkyDrive はサウスカロライナ州政府、地方政府や様々な関係者の方々に多大なるご支援を賜り事業開発を進めてくることができました。今後、サウスカロライナ州を米国における空飛ぶクルマのインフラ開発の最先端の地とし、SkyDrive 社の空飛ぶクルマをより広くご活用頂くために、ステークホルダーの皆様との連携をこれまで以上に密にしながら次のステップに進ませて頂けることを大変ありがたく思っております。

Austin Aviation Inc. 社長 Alex Cavazzoni 氏

モーター駆動の技術を最初に取り入れた自動車業界のように、オール電動の技術を取り入れた空飛ぶクルマは、ビジネスジェットやチャーター機を運航する業界にも大きな変革と挑戦をもたらします。SkyDrive 社が開発する「SKYDRIVE」とサウスカロライナ州の全ての関係者の協力を得ながら、これから業界の次世代のチャプターを創っていけることを楽しみにしています。

Volatus Infrastructure, LLC 共同創設者 Grant Fisk 氏

我々は、サウスカロライナ州の空飛ぶクルマのエコシステムに参加できることを光栄に思います。また、SkyDrive と協力して州全体の空飛ぶクルマのインフラ計画を推進できることを嬉しく思います。これが米国における空飛ぶクルマの業界の方向付けとなり、さらなる進歩と発展に繋がる事を願っています。

■ 「SKYDRIVE」の概要

「SKYDRIVE」は、「電動」「垂直離着陸」といった特徴を備えたコンパクトな航空機です。3人乗り（乗客2名とパイロット1名）で、パイロットが操縦しますが、コンピュータ制御のアシストにより、飛行を安定させています。当社は、将来的に「空飛ぶクルマ」が、自動車のように日常的に空の移動手段として使われる世界を目指して、開発を進めてまいりました。



SkyDrive 社の eVTOL 「SKYDRIVE」

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility（AAM）や Urban Air Mobility（UAM）と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和5年3月付） <https://www.mlit.go.jp/common/001598463.pdf>

※2 当社関連プレスリリース <https://skydrive2020.com/archives/17458>

※3 当社関連プレスリリース <https://skydrive2020.com/archives/37772>

※4 パーティポートとは：空飛ぶクルマ等、垂直離着陸可能な航空機専用の離着陸場のこと。垂直を意味する「Vertical」と空港を意味する「airport」の2語を合わせた単語。

※5 当社関連プレスリリース <https://skydrive2020.com/archives/13948>

《株式会社 SkyDrive 概要》

設立	2018 年 7 月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive2020.com/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 名古屋オフィス：名古屋市中村区名駅 3-28-12 大名古屋ビルディング 11F 東京オフィス：東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー7F SPACES 品川内 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F アメリカオフィス：500 Carteret Street, Suite D, Beaufort, SC 29902
事業内容	「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018 年 7 月に設立、豊田市を主拠点に「空飛ぶクルマ」及び「物流ドローン」を開発しています。「空飛ぶクルマ」の開発においては、国内で唯一、有人飛行試験を実現し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しております。「空飛ぶクルマ」は、現在 3 人乗りの機体を開発中、2025 年に大阪・関西万博での運航開始を目指しております。30kg の荷物を運搬可能な「物流ドローン」は、山間部を中心とした作業現場で活用いただいています。

本件に関するお問い合わせ

《株式会社 SkyDrive》

広報担当 大石

広報責任者 宮内

Email: info@skydrive.co.jp